

私をあらわすコスチューム

1 豪華さは比較から生まれる - 背景 -

比べてしまう

ブドウの方が...

感じ方は人それぞれに異なる。ある人にとっての豪華は、別の人にとってはそうではないかもしれない。私たちは無意識のうちに、二つ以上のものを比べ、優劣を付けてしまう。つまり、豪華さとは、他者との比較によって生まれる感覚なのだ。

2 内に閉じこもった生活 - 課題 -

豊かさが可視化できない

シェルターが内外を断ち切る

モニュメントが閉じこもる

現代の住宅は、シェルター（生きる為のもの）としての機能を強めている。その結果、モニュメント（私たちの暮らしを表現し続けるもの）が内側へ閉じこもり、外部との関係性を断ち切っている。つまり、機能としての住宅が整うにつれ、建築の中の個性が希薄化する。私たちは自分にとっての豊かさがみえないのではないだろうか。

3 比較から開放される - 提案 -

従来の要素を反転させる

モニュメントが広がる

シェルターがコアになる

現代の住宅を構成しているシェルターとモニュメントといった要素を反転させることを提案する。モニュメントが外側に現れ、私たちの暮らしを表現し続ける。家が動的な存在になることで、自由に移動・変身できるようになる。そのため、家における比較という行為が解放される。この家を纏うことで、身体から延長された、日常では届かない可能性を広げられる「コスチューム」となる。

4 コスチュームを纏う

□シェルター

エンジン、構造、運転席、トイレをまとめた最低限の機能を持つ。

□モニュメント

増減築する部分。自分の暮らしを表現し続ける。

1人につき1戸のコスチュームを設計する。住宅のシェルターとモニュメントを再構築する。

□コスチュームの効用

①自由に移動する

モニュメントが外側に出てくることで、敷地そのものから解放される。今まで移動する、住むことができなかった場所へ行くことができる。

②変身する

自分がなりたいどんなものにもなることができる。

③個性を表現する

自分が表しきれなかったどんなものでも表現することができる。

5 豊かな関係が広がる

コスチュームは、量産可能なシェルターを共通化することで、世界中に広がっていく。人々はそれを通じて、自分だけの豪華さをもつ家をつくり出す。コスチュームを纏った人々は、姿かたちを変えながら自分を表現することでそうした比較そのものを和らげていき、人々と関わりあえる豊かな関係をつくるだろう。

住宅のモニュメント性とシェルター性について言及している、ル・コルビュジェの「住むための機械」の内容を引用する。ル・コルビュジェは「住宅は住むための機械」と語ったが、その言葉の背後には、住宅における二つの目的があった。

□第一の目的：生きるための機能を持つ 機械としての住宅＝シェルター

□第二の目的：沈思・静慮・美をもたらす 建築としての住宅＝モニュメント

そして彼は、「第二の目的の中にこそ建築がある」と語ったが、この二つの目的は、しばしば分離されてきた。

7 コスチュームを設計する

事例として設計者2人のコスチュームをそれぞれ設計する。

form 01：ぶどう畑の中で暮らす (滞在期間：3ヶ月)

シェード

ぶどうの木

柱の一部に畑にあるぶどうの木を採用

site 01：長崎県 祖母宅

私が世界一大好きなおじいちゃんが真心込めて育ててくれたぶどう畑にコスチュームをとめる。風に染る甘い香りを感じながら暮らす。

form 03：緑の中でのコミュニティ (3ヶ月)

寝ながら空を見るための天窗

site 03：阿蘇山麓

麓にコスチュームをとめる。春になりぶどうの木は葉をつけ、自然の中で葉っぱのピシネスを行い、穏やかな気候のものが大自然を謳歌する。

form 05：朝活カフェを営む (3ヶ月)

大屋根でコミュニティを守る

けん引車

地域住民や観光客が大屋根のもとへ誘われる

site 05：愛知県名古屋 駅近

名古屋旅行で、名古屋のモーニング文化の虜に。名古屋のモーニングとじいちゃんのぶどうでコスチュームをつなぐ。

form 02：延長されたリビング (3ヶ月)

寝室

リビングの延長

site 02：大分県 祖母宅

「免許を取ったら車で来るね」約束を果たし、リビングと中庭をコスチュームで繋ぎ、家族団らんスペースに。

form 04：ピアノと一緒に暮らす (3ヶ月)

ピアノの部屋

小さな音楽演奏会

site 04：広島県井口 実家近く公園

公園にコスチュームをとめる。幼い頃から触れてきたピアノと一緒に暮らす。変わる中で、ずっと一緒にいたピアノとの変わらない暮らし。

form 06：ぬくぬくに関わる空間 (3ヶ月)

サウナで整うテラス

大屋根に雪が積もり空間は閉じあたたまる

site 06：群馬県 草津温泉

湯煙や湯もみがあり有名な雪景色が美しい日本三名泉にコスチュームをとめる。人々とぬくぬく関わりながら温泉やサウナで心も浄化。

form 01：実家のセカンドリビング (滞在期間：12ヶ月)

隠れ個室

実家と接続する

母がガーデニングを勤しむ

site 01：三原市にある実家

家族は庭でガーデニングを勤しんでいる。ベランダにコスチュームを接続し、飼っている猫と一緒に庭を近くで眺められるセカンドリビングをつくる。

実家と接続する

実家と一緒に本を読むため、コスチュームを実家と接続させる。

高さを抑えたセカンドリビング

1200

実家

form 03：集落のシェア空間 (12ヶ月)

キッチン

受け入れる屋根

島民たちのシェアスペースに

site 03：山口県上関町祝島 海沿い

たくさん猫が暮らす漁村集落の海沿いにコスチュームをとめる。漁師たちが仕事終わりに集まり魚を捌いてご馳走してくれる。

受け入れる屋根

周辺環境や島民を受け入れるために曲面に開いた屋根でおおらかに包む。また島猫たちの日向ぼっこスペースとなる。

Wind

曲面に開いた屋根

ルール

・移動を可能にするため普通免許で運転できる車両を基準とする。

□シェルター：量産可能な、共通のテンプレートとする。

□モニュメント・モニュター：環境に合わせて増減築を行う。

・移動時には、普通免許で運転可能なサイズ (2500 × 5500 × 3800) まで減築し、移動先で再度増築を行う。

5500

3800

2500

コスチューム 運転可能サイズ S = 1:100

form 02：商店街の小さな縁側 (12ヶ月)

おちやかな屋根が人々を誘う

site 02：大阪市新世界 ジャンジャン横丁

お好み焼き屋や立ち飲み屋が並ぶ商店街の空き地に、コスチュームをとめる。趣味の漫画をみせることで大阪コミュニティが生まれる。

form 04：住宅街のすきまアトリエ (36ヶ月)

高さをセッパックさせる

働いている姿を見せる

site 04：東京都中央区 月島 住宅街

月島の住宅街の隙間にコスチュームをとめる。設計事務所を運営する。働いている所を見せる事で施主さんへのアプローチが生まれる。